

社会福学科 社会福祉専攻 2年 前期 総合科目

1. 生と死の倫理学
2. 市民活動論
3. 職業選択と自己実現
4. 英語コミュニケーション

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 生と死の倫理学			担当教員 氏名: 宮島 光志			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討しながら、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心がまえを学習します。とりわけ、他者の「人生という物語」を共感しながら理解する態度・姿勢を身に付けてもらい、福祉・介護関連の仕事に携わる意欲(使命感)を高めてもらいます。						・道徳と倫理 ・地域共生社会 ・幸福度 ・尊厳と自立 ・インフォームドコンセント ・生命倫理と医療倫理 ・ケア ・物語論
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 10	
A 知識・理解力	人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。					
C 論理的思考力	何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。					
D 問題解決力	医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を検討する。					
F チームワーク・リーダーシップ	事例検討を通じて多職種連携の重要性を理解し、連携に必要な協調性を涵養する。					
G 倫理観	医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 75 %	レポート: 0 %	発表: 25 %	実技試験: 0 %	その他: 0 %		
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)を実施します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 小テスト(復習と予習に関する確認)を講義3回に1回を目安として(合計5回)実施するほか、ケーススタディ(合計9回)のさいには毎回、数人の受講者にコメントを求めます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストを5回、講義の冒頭で行い(回収後に解答・解説も行い)、採点して次回に返却します。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①[導入1]倫理の探求と幸福の追求:ドラマによるケーススタディ[1]			【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分		
②[導入2]人間の尊厳と人権の尊重:ドラマによるケーススタディ[2]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
③[導入3]人間の脆弱性と統合性:ドラマによるケーススタディ[3]			【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
④コメディカル生命倫理;第1回小テスト(①~③の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑤いのちの誕生における倫理的課題(その1);ドラマによるケーススタディ[4]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑥いのちの誕生における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[5]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑦いのちの誕生における倫理的課題(その3);ドラマによるケーススタディ[6]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑧インフォームドコンセント;第2回小テスト(④~⑦の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑨臓器移植に関する倫理;ドラマによるケーススタディ[7]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑩高齢者医療における倫理的課題(その1);第3回小テスト(⑧と⑨の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑪高齢者医療における倫理的課題(その2);ドラマによるケーススタディ[8]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑫死に関連する倫理的課題;第4回小テスト(⑩と⑪の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑬尊厳死と安楽死;ドラマによるケーススタディ[9]			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
⑭児童虐待と生命倫理;第5回小テスト(⑫と⑬の確認 15点分)			【予習】小テストの準備、テストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分		
⑮発達障がい・LGBTと生命倫理;[まとめ](生と死の倫理学)と福祉・介護			【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分		
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10:4779512212)			その他参考文献など: 介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新 介護福祉士養成講座 1)』(中央法規出版、2019)			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この授業を履修しようとする学生は必ず初回の講義に出席してください(原則として、第2回講義からの履修は認められません)。また、毎回の講義には事前学修(予習)をした上で出席し、講義時間内の「事例検討」にも積極的に参加してください。						

社会福祉学科

社会福祉 専攻

2 年

科目名： 市民活動論				担当教員 氏名： 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	総合選択科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 社会福祉士としての実務経験をもとに市民活動の実際について事例を交えて授業する。						
授業科目の学習教育目標の概要： 近年、ボランティア活動やNPO活動など、様々な市民活動が活発化しており、今後ますます市民活動の果たす役割は重要なものとなる。本科目では、ボランティア活動・NPO活動の歴史・理念や日本《富山県》におけるボランティア活動・NPO活動の現状や課題について学ぶことを通して、市民活動についての理解を深める。				キーワード ボランティア(活動)、奉仕活動、NPO(活動)、市民活動、ボランティアセンター、ボランティアコーディネーター		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10		
A 知識・理解力		市民活動(ボランティア・NPO活動含む)について、その意義や役割について理解することができる。				
C 論理的思考力		市民活動に関する知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
F チームワーク・リーダーシップ		他者と協調・協働して行動できる。				
G 倫理観		尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。				
H コミュニケーション力		福祉専門職として他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を身につける。				
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %		レポート： %		発表： 20 %		実技試験： %
その他： 30 %						
特記事項： 「その他：30%」では、授業態度について評価する。 本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、グループディスカッションを活用し、ボランティア活動プログラムの企画を行い、プレゼンテーションを行う。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 別に定めた日時で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な 時間(分)
①オリエンテーション～ボランティア活動と奉仕活動～				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】①の復習		【復習】30分
②ボランティア活動の歴史～COS運動とセツルメント運動～				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】②の復習		【復習】30分
③日本とアメリカのボランティア活動の違い				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】③の復習		【復習】30分
④日本国内のボランティア活動の現状と課題				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】④の復習		【復習】30分
⑤富山県内のボランティア活動の現状と課題				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑤の復習		【復習】30分
⑥ボランティアセンターとボランティアコーディネーター				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑥の復習		【復習】30分
⑦自分のまちのボランティア活動・中間まとめ				【予習】①～⑥の復習		【予習】30分
				【復習】①～⑥の復習		【復習】30分
⑧世界のNPO				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑧の復習		【復習】30分
⑨日本のNPO				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑨の復習		【復習】30分
⑩NPOと法律				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑩の復習		【復習】30分
⑪NPOの存在意義とは				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑪の復習		【復習】30分
⑫NPO活動の実際				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑫の復習		【復習】30分
⑬市民活動とは				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑬の復習		【復習】30分
⑭市民活動の意義と課題				【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】30分
				【復習】⑭の復習		【復習】30分
⑮福祉専門職と市民活動・まとめ				【予習】⑧～⑭の復習		【予習】30分
				【復習】⑧～⑭の復習		【復習】30分
使用テキスト：「よくわかるNPO・ボランティア」川口清史，田尾雅夫，新川達郎【編】ミネルヴァ書房 ISBN4-623-04098-4				その他参考文献など：「ボランティア・NPO用語事典」大阪ボランティア協会【編】中央法規 ISBN978-4-8058-2427-6		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ボランティア活動に興味や関心のある学生の受講を期待します。						

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 職業選択と自己実現			担当教員 氏名: 車 吉章			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 通常業務(放送アナウンス)を通じ、人のかかわり方、コミュニケーション方法、技術について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
自己の気づきをしながら、自らの能力と社会での活かし方を学ぶ。					自己探求	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
E 自己管理能力			コミュニケーション実践を通じて自己発見、自己理解。			
F チームワーク・リーダーシップ			グループワーク実践を通じて「積極性」を身につける。			
H コミュニケーション力			各実践を通じて社会人としての自覚を意識する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 20 %		レポート: 10 %		発表: 30 %		実技試験: 40 %
						その他: %
特記事項: コミュニケーション実践などを取り入れた授業の中で自らを見つめ発見していく。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各テーマごとに試験などを実施していく。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①講師自己紹介、コミュニケーション実践の体験				グループワーク		90分
②受講にあたっての注意事項、マナー実践				あいさつ実践		90分
③履歴書の作成実践				履歴書の作成		90分
④履歴書の作成実践(ポイントテクニック)				履歴書の作成		90分
⑤履歴書の作成実践				履歴書の作成		90分
⑥自己探求				サクセスストーリー作成		90分
⑦自己探求(時間)				実生活の自覚		90分
⑧コミュニケーション実践				仲間とのコミュニケーション		90分
⑨コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑩コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑪コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑫コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑬コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑭コミュニケーション実践				グループワーク		90分
⑮模擬面接試験				テスト		90分
使用テキスト: 講師側で準備				その他参考文献など:		
時間を守る、挨拶、面接試験でのテクニックなどを実践通じて学んでもらいます。一部外部のプロフェッショナルを招いたり体感重視です。						

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 英語コミュニケーション				担当教員 氏名: Victor Raquid Vibal		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			The teacher has abundant experience in his career in tourism and will try to motivate the students with his episodes and hands-on expertise.			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
For students to be able to hold a simple conversation, and to expand their vocabulary.					Basic English communication	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力			Making the best use of what you have learned before plus trying to learn something new will lead to better command of the language.			
F チームワーク・リーダーシップ			Trying your best in playing your role is important in group activities.			
H コミュニケーション力			Positive attitude without being afraid of making mistakes is a MUST in building basic command of English.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: %		発表: 30 %		実技試験: %
その他: 40 %						
特記事項: Classroom participation and attitude is vital to success in this course.						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: Group activities with presentations will be assigned. Schedule for working through the curriculum is shown below. Progress through the curriculum may be faster or slower than planned depending on class ability.						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: Individual discussions with students following graded presentations.						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① Getting to know each other.				Preview pgs. 7 - 11	30分	
② Making comparisons				Preview pgs. 12 - 16	30分	
③ Talking about work				Preview pgs. 17 - 22	30分	
④ Giving directions				Preview pgs. 23 - 27	30分	
⑤ Travel English: Going to Korea - Assign First Presentation				Prepare for Oral Presentation 1	30分	
⑥ Oral Presentation and Evaluation 1				Preview pgs. 28 - 37	30分	
⑦ Talking about experiences; Talking about the past (simple past; present perfect)				Preview pgs. 38 - 43	30分	
⑧ Talking about food; Talking about health				Preview pgs. 44 - 49	30分	
⑨ Suggesting and inviting; Travel English -- Restaurants				Preview pgs. 50 - 57	30分	
⑩ Talking about the past (past progressive and simple past); Travel English -- Shopping				Preview pgs. 58 - 64	30分	
⑪ Giving advice; Talking about unreal situations				Preview pgs. 65 - 68	30分	
⑫ Talking about movies and television; Assign Second Presentation				Prepare for Oral Presentation 2	30分	
⑬ Oral Presentation and Evaluation 2				Prepare for Talkopoly; pg. 69	30分	
⑭ Talkopoly;				Review for test	30分	
⑮ Final Review				Review all material	30分	
使用テキスト: Talk a Lot -Book 2-				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Everyone should expect to talk as much as they can. Hopefully we'll have fun, and your English will improve.						